



自分たちの学校は自分たちでよくする ～6/10(火)生徒総会終了～

中間テストに向けた勉強に、中体連大会や各クラブの大会に向けた練習と、本当に忙しい毎日の中で時間を生み出しながら、生徒会執行部や各委員会の委員長・副委員長、そして発表者は準備やリハーサルに取り組んできました。各学級では、各委員会の年間計画に対しての質問や要望をしっかりと話し合うことができました。当日の流れもスムーズで、真剣に会に臨んでいました。

生徒総会が始まるにあたって私が話す時間がありました。実はその話の前に少し厳しく全校生徒に問いかけました。それは「名札」のことです。校内にいる時には、名札をつけるようになっています。下校するとき以外、教室に置いて帰ります（プライバシー関係で）。名札を付ける、付けない是非はおいといて、決められていることはきちんとやらないと、集団生活は成り立ちません。そこをまずは全校生徒に投げかけました。

そのあとで、始まるにあたって話をしました。内容は以下の通りです。

- ① ルールやマナーを守るのは当たり前。みんなが守っているという土台の上に、「どうすれば楽しく過ごせるか。そのために自分に何ができるか。」を考えていく事が大切。
- ② だけど一人で何でも行うのは不可能。だから「生徒会」という組織を作って、役割分担をして、みんなが楽しく幸せな学校生活を送るためのさまざまな取組を計画し、実践していく。
- ③ だから、他人事ではなく、自分事と捉えて真剣に会に参加してほしい。
- ④ 真剣に発表する人の心をわざと傷つける行為は許さない。発言を笑ったり、茶化したり、わざと横着な態度で参加したり……。そんなことがない会にしよう。

途中休憩をはさみながら、約90分。みんな本当に真剣に参加し、後半には「三中いじめ根絶宣言」を全員で朗読し、私にとってはあっという間の会でした。教頭先生からは、

- ① 何かを決めること・何かを変えることは簡単なことではなく、これだけの準備が必要であること。
- ② これだけの手順を踏んで決めていかなければならないこと。
- ③ 準備を頑張ってくれた人たちの頑張りと、真剣に会を作り上げてくれた全員に感動したこと。

といった講評もいただきました。皆さん本当にお疲れさまでした。



6/11(水) 中体連大会選手推戴式

各部の決意表明。生徒代表激励の言葉。校長の話。その流れで計画されていました。場所の関係で、中体連出場者と、2・3年生のみ体育館に集合し、1年生は各教室でのリモート。Zoomによる配信を教室で見るという形での参加となりました。

しかし、残念ながら最初に苦言を……。集合した時のおしゃべりや整列に時間がかかりすぎるなど、浮ついたところがあったため、体育科の先生からビシッと話がありました。その話と生活委員長の凛とした整列のさせ方により、会場の雰囲気もピリッとしたものになりました。

その後、各部からの決意表明。各部、置かれている状況は違いますが、それぞれが高い目標を掲げて臨もうとしていることが伝わってきました。



生徒代表激励の言葉は、気持ちのこもったいい内容でした。それに加えて、上の写真にもあるように、激励の言葉を言ってくれた生徒の音頭取りで、「三中コール」を全員で行いました。とても嬉しかったし、試合にも出ないのに私自身、気持ちが高ぶってきました。その状態で話した内容は、

- ① 中体連大会は全国優勝しない限り、必ず敗けて終わる。敗けた時に「敗けたけどこの仲間と一緒に戦えてよかった」と思える準備をして臨むこと。
- ② 「誇りを胸に戦う」。これは今まで自分たちがやってきたことに自信を持って戦うこと。名誉と思って戦うこと。残りの日々で「自分たちの誇りはこれだ」というのを、誰に聞いても同じ答えが返ってくるくらい、気持ちを高めて大会に臨んでほしい。
- ③ 言葉で感謝の気持ちを表すことは大切。しかしその前に、最後まであきらめずに一生懸命戦う姿や表情を見せることが一番、感謝の気持ちを表したことになる。仲間も、後輩も、指導者も、保護者も一番のぞんでいること。そんな大会にしてほしい。
- ④ (体育科の話にあわせて) 勝敗は細部に宿る。時間を守る、話の聞き方、挨拶、荷物の整理など。の4つの話をしました。終わった後に、「好きです三中」と思える大会にしてほしいです。

6月14(土)～15日(日) 先行実施の中体連大会結果

【バドミントン】男子団体3位、女子団体3位 【ソフトテニス】男子団体3位、女子団体3位

【軟式野球】玉東中に敗戦 【サッカー】玉東FCに敗戦

【バドミントン】男子シングルス優勝 中川 昊(3-2) 女子シングルス優勝 江口 爽(1-1)

明日と明後日、各会場で行われる中体連大会に応援に行く際は、制服か体操服、クラブチームのジャージ。ソフトテニス会場の蛇ヶ谷公園テニスコートは応援用の駐車場は殆どないので、九州看護福祉大学付近のスペースで降ろしてもらって、歩いて行くこと。応援者もマナーを守りましょう。